

支援対象国

モンゴル国



国土の約8割を草の大地に覆われた、「草原の国」モンゴル。ロシアと中国の間に位置する東アジアの内陸国です。国土面積は日本のおよそ4倍の広さ。南西部にはゴビ砂漠、中央部には広大なモンゴル高原が広がります。306万人ほどの人口のうち、半分近い134万人が首都のウランバートルに居住していますが、地方では、遊牧民による伝統的な遊牧生活が今日でも営まれています。

一年を通じた降水量は東京の4分の1以下と、非常に乾燥した国土です。季節による気温の差が激しい内陸性の気候で、夏は40℃近くまで上がる一方で、冬はマイナス30℃以下まで下がります。夏の干ばつに続き、豪雪や氷点下40℃以下の極寒の冬が訪れるモンゴル特有の自然災害のことを、「ゾド」と呼びます。干ばつの影響で草が十分に成長しないと、家畜は冬を越せるだけの栄養を蓄えることができません。そこに容赦ない寒波が襲いかかることで、大量の家畜が犠牲になってしまいます。気候変動の影響からか、ゾド被害は2000年以降増加傾向にあるといわれます。糧である家畜を失うことによるダメージははかりしれず、毎年、人々の生活を脅かしています。



これまでのご支援、誠にありがとうございます。

赤十字の活動は皆さまからのご寄付に支えられています。

さらなるご協力を募集しています！

海外たすけあいキャンペーン

世界の紛争や自然災害、飢餓、病気などで苦しんでいる人びとを支援するため、日赤とNHKは1983年から毎年「NHK海外たすけあい」募金キャンペーンを実施しています。

海外たすけあいキャンペーン

毎年12月1日～12月25日

海外救援金

大規模な紛争や災害により甚大な被害が発生したとき、犠牲者・被災者支援のため、救援金を募集しています。

海外たすけあいキャンペーン報告書、
海外救援金募集状況はこちら



活動資金

国際活動を含む日赤全体の活動を支える活動資金も募集しています。<http://www.jrc.or.jp/contribute/>

企業の方へ

ご希望の事業をご支援いただくことが可能です。詳細は下記の連絡先までお問合せ下さい。

もっと知りたい方は・・・

赤十字国際ニュースにご登録ください

大きな紛争や災害から、スポットライトの当たっていない人道危機まで、様々な対応を行う赤十字の活動を発信中！

【定期購読】

まぐまぐ登録画面よりメールアドレスをご登録ください。毎週金曜日に赤十字国際ニュースをお届けします。



まぐまぐ登録画面
URL <http://goo.gl/UeRLTU>

モンゴル赤十字社 組織強化支援



検索



日赤 モンゴル組織強化

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp>

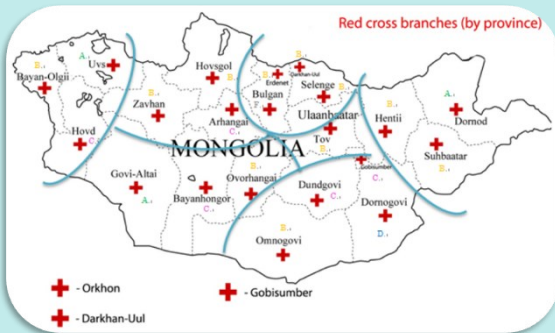
TEL:03-3437-7089 (国際部 開発協力課) 2016年12月作成

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

モンゴル赤十字社

世界190の国・地域に広がる各国の赤十字・赤新月社。同じ理念と原則を掲げ、それぞれの国で、その国のニーズに沿った人道的活動を行っています。モンゴル赤十字社は、第二次世界大戦下の1939年に設立されました。ウランバートルに本社を構え、全国32の支部が、広大なモンゴル国内における活動の拠点となっています。35万人のメンバーに支えられ、1万5000人のボランティアと7万人の青少年メンバーが今日も活動を続けます。



モンゴル赤十字社の活動：4つの柱



青少年活動



災害救護



保健・健康支援



社会福祉

日本赤十字社の支援概要

■支援内容

モンゴル赤十字社の組織強化支援
※国際赤十字・赤新月社連盟を通じた資金拠出

～具体的には～

- ・モンゴル赤十字社が外部の資金に頼らず、自身の力で活動費を集められるようファンドレイジングのスキルアップを図ります。
- ・全国に拠点を置く各県の支部が、きちんと事業を管理・運営できるようにマネジメント能力を高めます。
- ・青少年活動の活性化を目指し、新しいメンバーの加盟を促進。研修やトレーニングも充実させます。

■最終目標

モンゴル赤十字社が、国民が赤十字に求めるサービスを、自立的・持続的に、そして確実に届けることができるようになることを目指します。ひいてはそれが、サービスを受取る多くのモンゴルの人びとに広く裨益することになります。

現場からの声

日本の皆さんこんにちは。モンゴル赤十字社事務部長のプジェです。私の国はまだまだ貧困率が高く、寒波や洪水といった自然災害に頻繁に見舞われるため、モンゴル赤十字社の活動には大きな期待が寄せられています。モンゴルはとても広い国。災害時、被災者にいち早く、そして効果的に支援を届けるためのカギは、全国の支部が握っています。私たちは今、日本赤十字社を通じて皆さまから寄せられた支援をもとに、支部一つ一つの力を高める取り組みを進めています。温かい支援に心から感謝しています。



誰もが「自ら立ち上がる力」をもっている

紛争、自然災害、感染症の蔓延—私たちの暮らす世界は様々な人道問題に直面しています。赤十字は、たとえどのような状況下にあったとしても、人間一人ひとり、誰もが「自ら立ち上がる力」を有していると考えています。地域社会やそこに住む人々が、“自らの力で”危機に備え、立ち向かい、そこから立ち上がること。そのためには日頃からの備えや予防が重要です。赤十字が行っている様々な活動は、こうした地域社会の“底力”を強化することを目指しています。



主役は現地の人びと



災害などのリスクにさらされた時、真っ先に対応するのは外部からの援助ではなく、そこに住む人々です。彼らはまた、自分たちが住む地域社会が、どのようなリ

スクやニーズを抱えているかを熟知し、その地に根差した伝統的な知恵や資源を活用する術も心得ています。外部からの支援は、いつかは終了していくものです。一方、その国の赤十字は、地域の人びとやボランティアとともに、そこにニーズがある限り、草の根の活動を続けています。今は支援が必要な赤十字社でも、将来的には自立し、その国の人びとが求める人道的使命を達成できるよう、自立を後押しすることも大切な支援です。

“組織強化支援”は赤十字の全ての事業における根幹であり、要です。